

レセプトチェッカーLS インストール版 Ver. 1.4.0 S132 (build008) リリースノート

この文書は、レセプトチェッカーLSインストール版Ver. 1.4.0 S132導入時の注意事項などについて記載しています。

レセプトチェッカーLSインストール版をご利用の際は必ず目を通していただくようお願いいたします。また、これらの内容はユーザーのフィードバックを受けて更新されることがありますので、随時最新情報をご確認ください（最新情報は https://receiptcheckerls.info/rn_install/ でご確認ください）。

1. 導入についての注意事項

1-1. アップデート適用環境について

レセプトチェッカーLSインストール版 S132更新用Setup.exeを利用される場合は、更新用Setup.exeをダウンロードするためのインターネット環境が必要です。

1-2. インストール方法

【手動更新】

(1) 下記サイトより、レセプトチェッカーLSインストール版更新用Setup.exeをダウンロードします。

レセプトチェッカーLSインストール版最新版のダウンロードサイト

https://receiptcheckerls.info/ls_version/

(2) ダウンロードした Setup.exe をダブルクリックで起動します。



上図の「ユーザーアカウント制御」画面が出たら、「はい(Y)」をクリックして進めます。

「いいえ(N)」をクリックすると終了します。

「レセプトチェッカーLSインストール版 セットアップウイザードの開始」画面が表示された場合は「次へ」をクリックします。

使用許諾契約書の同意についての確認画面が表示されます。スクロールすることで、最後までお読みいただけます。

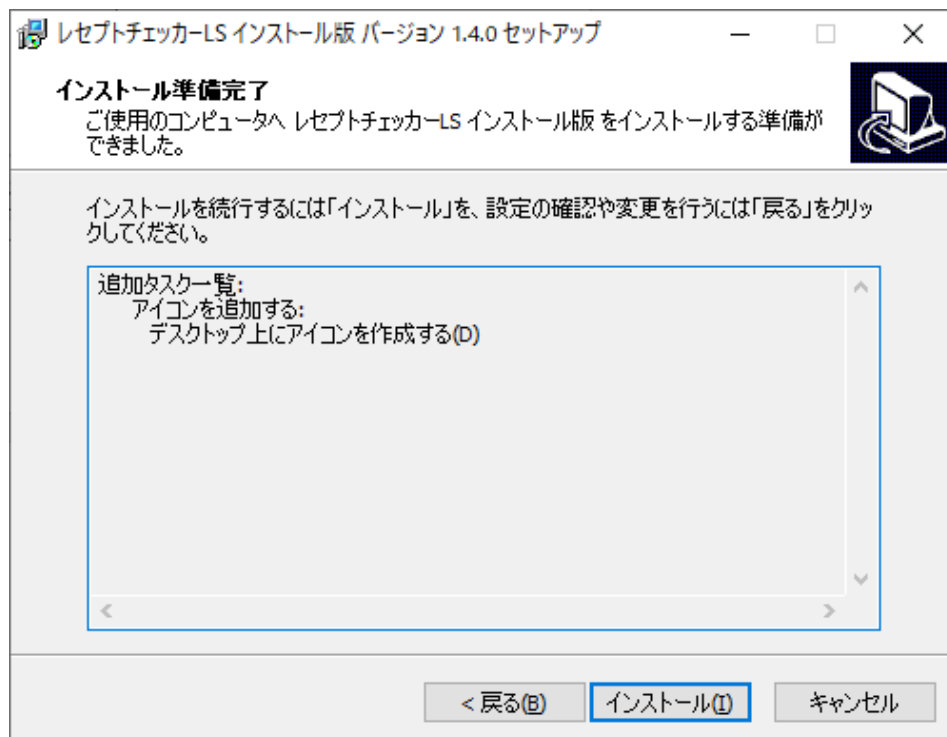


「同意する」にチェックして「次へ」をクリックします。

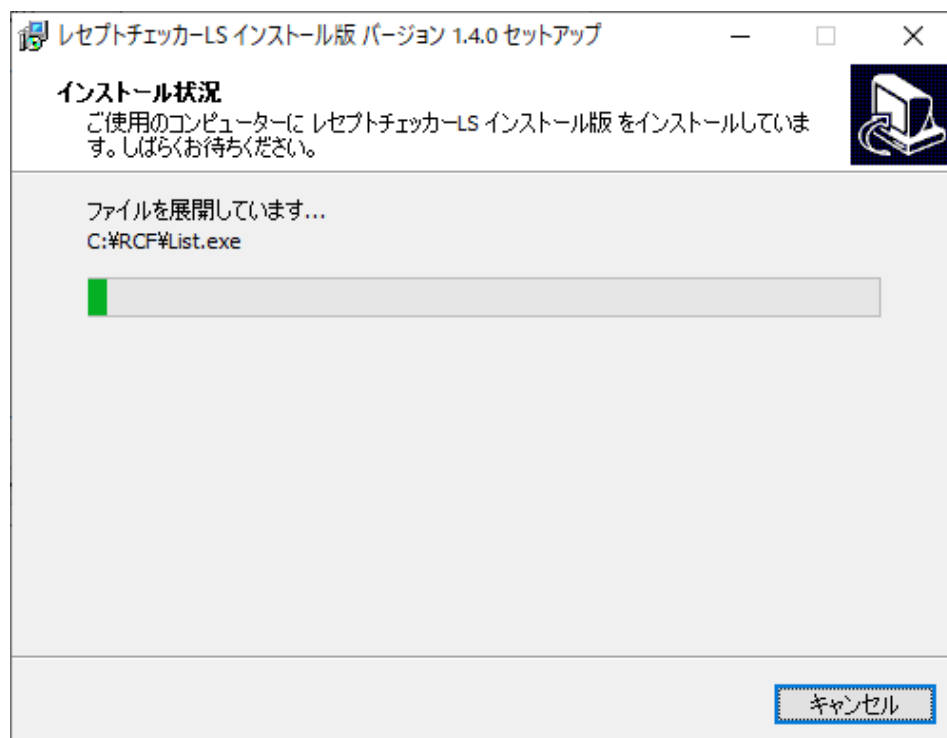
「レセプトチェッカー-LS インストール版」のアイコンを作成するので、「デスクトップ上にアイコンを作成する」にチェックをいれて「次へ」をクリックします。



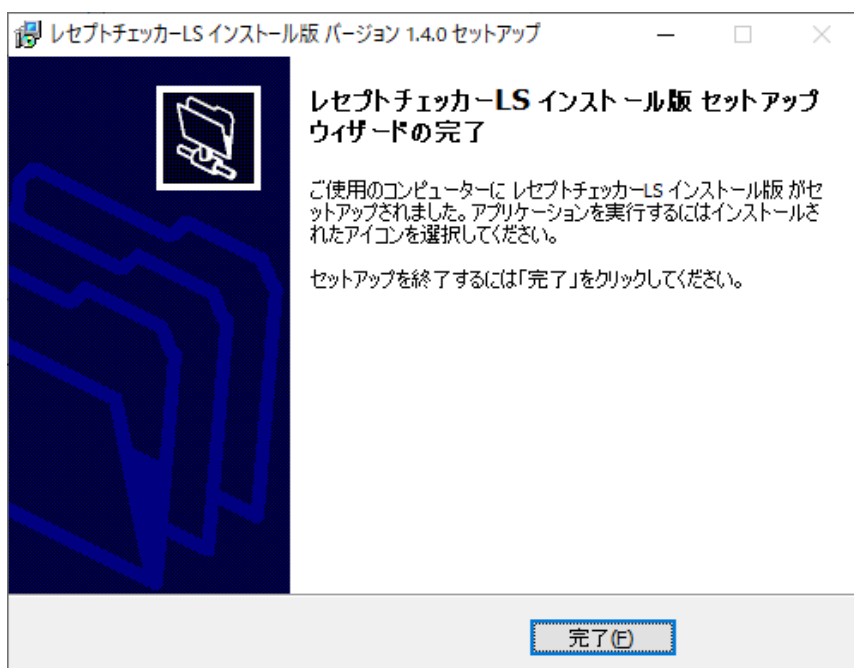
「インストール(I)」をクリックします。



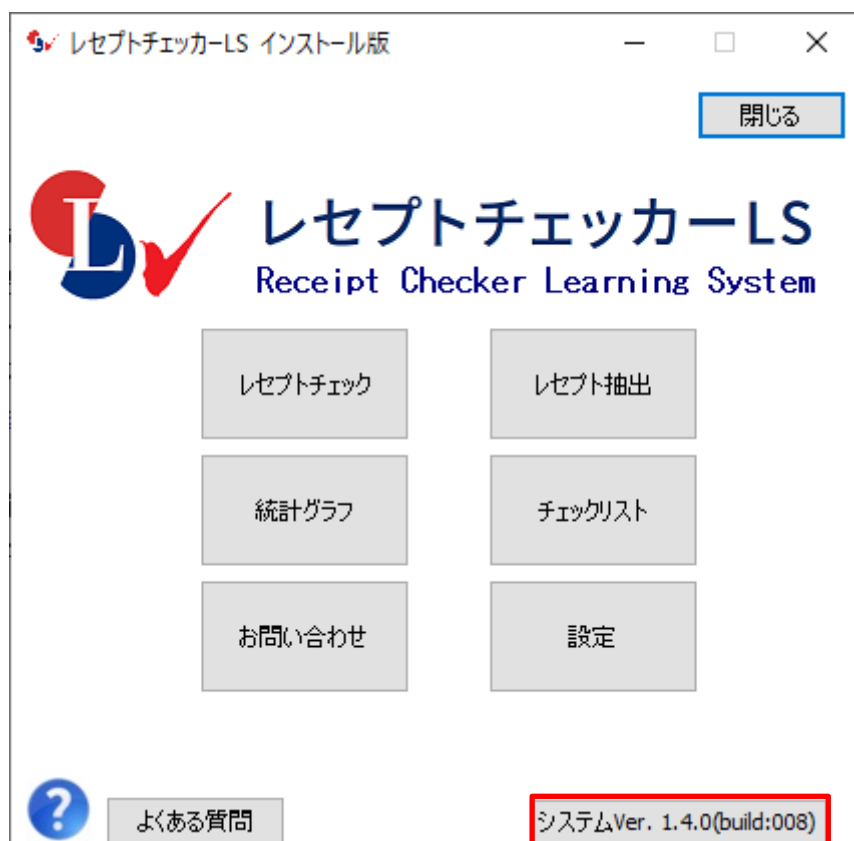
「インストール状況」が表示されます。



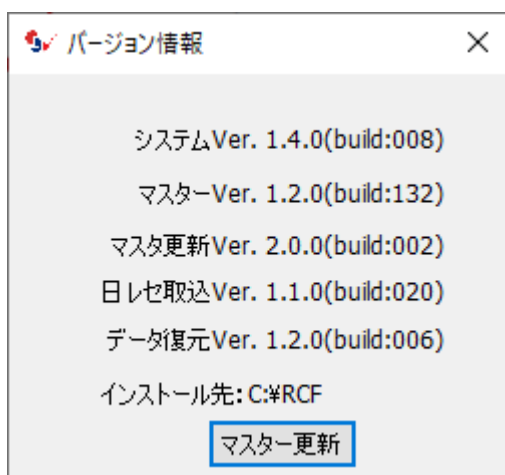
「レセプトチェッカーLS インストール版 セットアップウイザードの完了」画面が表示されます。
「完了」をクリックして終了です。



(3) レセプトチェッカーLS インストール版となり、システムバージョンは Ver. 1.4.0 (build:008) になっています。



(4) システムバージョン以外のバージョン情報は、「システム Ver. 1.4.0(build:008)」と表示されたボタンをクリックすると得ることができます。



【自動更新】

「システムVer. 1. 2. 0(build:005)」以降のバージョン場合は、プログラム更新とマスター更新（診療行為や医薬品追加）の両方の更新がある場合は、左下図のように表示されますので、選択することができます。プログラム更新のみの場合は、左下図のように表示されます。

マスター更新（診療行為や医薬品追加）のみの場合は、「マスター更新の確認」画面は表示されず、自動的に更新されます。

【プログラム更新とマスター更新の場合】



【プログラム更新のみの場合】



「システムVer. 1. 2. 0(build:005)」以前のバージョンの場合は起動時に自動的にマスター更新のためのインストール用プログラム(Setup.exe)をダウンロードし、自動でインストール開始します。

以下の画面が表示されますが、「はい」をクリックして進めます。

「レセプトチェッカーFUGA サイトへ」のボタンはプログラム更新後。「レセプトチェッカーLS サイトへ」に変更されます。



上記画面が出ずに、最右下のタスクバーに隠れている場合があります。



その場合は、 をクリックして表示させます。

以降は、【手動更新】の(2)からと同じ展開となります。

2. 変更された主な内容

(1) 医薬品が追加されています。

詳しくは、下記サイト「Ver.1.4.0 build:008_132 マスター更新 (LSインストール版)」を参照ください。

<https://receiptcheckerls.info/mn-s132/>

(2) 「候補病名」が、一括作成とは別に追加・削除が出来る様になりました。

「設定」→「候補病名管理」→「候補病名一括作成」では、過去の検査や医薬品で合格となった傷病名のみ候補病名として登録していましたが、グループリストで「候補病名リスト」を出力しても候補病名が表示されない場合が多々ありました。候補病名が登録されていない検査や医薬品の候補病名を登録できるようになりました。

【具体的な操作方法】

① 「設定」→「候補病名管理」画面で「候補病名一覧」をクリックします。

② 「候補病名一覧」画面が表示されます。

- ③ 「候補病名表示」をクリックすると過去に取り込んだレセ電データから検査と医薬品が表示されます。「候補病名なしのみ」にチェックを入れると「候補病名」が登録されていない検査と医薬品が表示できます。

候補病名一覧

候補病名表示		<input type="checkbox"/> 候補病名なしのみ	114 件
コード	診療行為・医薬品	候補	↑
160019310	UA	有	
622143601	アズルバ錠40mg	有	
620007816	アスピリン腸溶錠100mg「トーワ」	有	
620008284	アドソルビン原末	有	
622110401	アトルバスタチン錠5mg「トーワ」	有	
622447801	アマルエット配合錠3番「トーワ」	有	
620007880	アムロジピン錠5mg「トーワ」	有	
620009117	アモキシシリンカプセル250mg「トーワ」	有	
620491801	アローゼン顆粒	有	
620856209	アロプリノール錠100mg「テバ」	有	
620389417	アンブロキシソール塩酸塩錠15mg「トーワ」		
620494902	ウルソデオキシコール酸錠100mg「トーワ」	有	

- ④ 「候補病名がない医薬品をクリックすると「チェックデータに基づいた候補病名」と「チェックデータ」が表示されます。

候補病名登録	閉じる
候補病名	チェックデータに基づいた病名 急性気管支炎 気管支喘息 慢性気管支炎 気管支拡張症 肺結核 喀痰喀出困難 慢性副鼻腔炎
	チェックデータ 急性気管支炎 気管支喘息 慢性気管支炎 気管支拡張症 肺結核 塵肺 喀痰喀出困難 慢性副鼻腔炎

- ⑤ 「チェックデータに基づいた候補病名」から傷病名をダブルクリックすると候補病名として傷病名が登録されます。

候補病名

チェックデータに基づいた病名

急性気管支炎

気管支喘息

慢性気管支炎

気管支拡張症

ダブルクリック

候補病名

急性気管支炎

チェックデータに基づいた病名

急性気管支炎

気管支喘息

慢性気管支炎

- ⑥ 「チェックデータ」からチェックデータをダブルクリックすると「候補病名登録」画面が表示されます。

チェックデータ

急性気管支炎

気管支喘息

慢性気管支炎

気管支拡張症

肺結核

塵肺

喀痰喀出困難

慢性副鼻腔炎

候補病名登録

対象医薬品名: アンブロキシソール塩酸塩錠15mg「トローワ」

閉じる

傷病名: 塵肺

病名検索

傷病名CD	傷病名

候補病名

登録

傷病名

急性気管支炎

削除

- ⑦ 「候補病名登録」画面で「病名検索」をクリックすると傷病名が表示されます。

候補病名登録

対象医薬品名:

傷病名:

	傷病名CD	傷病名
1	8835640	塵肺結核
2	8835641	塵肺症
3	8837111	炭坑夫塵肺症

候補病名

傷病名

急性気管支炎

- ⑧ 適切な傷病名をクリックすると傷病名欄に表記されるので「登録」をクリックして候補病名を登録します。

候補病名登録

対象医薬品名:

傷病名:

	傷病名CD	傷病名
1	8835640	塵肺結核
2	8835641	塵肺症
3	8837111	炭坑夫塵肺症

候補病名

傷病名

急性気管支炎

塵肺結核

- ⑨ 「削除」をクリックすると候補病名を削除できます。

3. 不具合対応

- (1) 「ライセンスキーの登録」画面で、「会員ID」と「パスワード」を空白にして「登録」しても更新されない不具合を改修しました。